

もしも

No.42



豊作と農村繁栄を

祈願し舞う

藤島地域は「獅子の里」と呼ばれるほど、獅子舞や獅子踊りが盛んな地域です。

その中でも添川地区両所神社御獅子舞は歴史が古く、三百年前から一度も途絶えることなく引き継がれており、市の無形民俗文化財にも指定されています。

獅子舞は、お盆に地元の寺や新築した家などを廻り、毎年8月18日に神社の例大祭で奉納されます。

現在、農村離れが進んで、若手が地区の伝統に誇りを持ち、後継者を育てるサイクルを維持することが難しくなりつつある世の中ですが、継続し頑張っている姿は頼もしいものです。

(石井 光明)

第2回定例総会を開催

平成30年度の活動方針等を決定

鶴岡市農業委員会第2回定例総会が4月27日、出羽庄内国際村ホールを会場に開催されました。

総会では、今年度の委員会活動方針を含む5件の議案が上程され、審議の結果、全て原案どおり可決されました。

今総会は、鶴岡市副市長、農林水産部長、農林水産部参事兼農政課長、農山漁村振興課長、農政課主幹を来賓に迎え開催されました。提案された議案は以下のとおりです。

平成30年度鶴岡市農業委員会活動方針



■環境保
全型農業
直接支払
に対する
要望書
(農林水
産大臣あ
て)

■安定した農業生産を継続できる施策に関する要望書 (農林水産大臣あて)
■地域の労働力確保に関する建議書 (鶴岡市長あて)
■農業を身近に感じるための取り組みに関する要望書 (鶴岡市長あて)

総会終了後は全員協議会が行われ、研修として農林水産部参事兼農政課長、農山漁村振興課長を講師に、農林水産部における本年度施策の考え方や、主要事業等について理解を深めました。



議長を務める渡部会長

また、引き続き営農・担い手、食育・地産地消の各専門委員会、広報編集委員会が開催され、今年度の活動計画等について話し合いが行われました。
なお、活動方針と要望書は農業委員会のホームページでご覧いただけます。

皆川市長へ 要望書を提出

6月8日、渡部長和会長、石塚治己会長職務代理者、高橋聡東部農地部会長、鈴木裕西部農地部会長の四役が皆川治市長を訪問し、総

会において議決された要望の趣旨等を説明しながら要望書を提出しました。
皆川市長からは、「要望していただいた事項については、関係する部署等で検討し、適切に対処していきたい。」との回答がありました。

農業委員会では、地域農業を守り、農業者の皆さんが意欲と希望を持って農業に取り組めるよう、今後も農業の現場における生の声を、市及び国・県等の関係機関へ伝えていきます。



農地利用状況調査 を実施します

農業委員会では、今年度も市内すべての農地を対象に、遊休農地や違反転用箇所を把握するため、農業委員・農地利用最適化推進委員による「農地利用状況調査」を実施しています。調査の結果、遊休農地などの所有者には、今後の利用について『意向調査』を行うとともに、是正指導や勧告を行う場合もあります。遊休農地は、病害虫の発生など近隣農地や住民に迷惑がかかりますので、草刈や耕起等による適正な管理をお願いします。

なお、調査にあたり、立ち合いなどの必要はありません。



農地パトロールを実施しました

農業委員会では毎年農地パトロールを行い、管内の農地の実態把握や、農地の違反転用がないかどうかを農業委員・農地利用最適化推進委員が確認しています。今年は8月3日に管内5か所を中心に視察しました。

資材運搬用ヘリポート

～朝日・松沢～

東北電力が電力鉄塔建替のため資材運搬を目的としたヘリポート用地▼現状は自己保全農地として管理のみを行っている農地で、周辺も同様なため農地転用しても耕作等への影響がないことや、実際にヘリの離着陸を見て安全性の確認もできました。



条件不利地のほ場

～榊引・黒川～

農地の所有者が高齢で長年斡旋を希望しているが所有権移転に至っていない農地▼現状が急傾斜で長大な法面のため、草刈り作業や農作業に多大な労力が必要

な場所であることがわかりました。

スマートテロワールのモデルほ場

～羽黒・川代～



▼耕作者の高田庄平さんより現状の取組について説明を受けました。収穫前のほ場の一部(約40a)を利用して、畑内に巨大迷路を制作して一般に開放し、3年間で4万人の集客を目標にしているそうです。

不動産業者が仲介しているほ場

～藤島～

近年、不動産業者へ仲介を依頼するケースが増えています。この案件も、農業委員会に一般の不動産業者

より相談がありました。未だに受け手が見つからず、現在は耕作されていない状況にあることなど、地元委員から説明がありました。

スイデンテラス

～鶴岡・北京田～

鶴岡バイオサイエンスパーク内に整備を進めている宿泊滞在複合施設及び子育て支援施設等▼テラス前の水盤と呼ばれる池や工事内容の説明を受けました。滞在複合施設については『シヨウナイホテル スイデンテラス』として8月1日にプレオープンしたばかりで、グランドオープンは9月中旬の予定とのことです。



農地パトロールを行うことで、地域の抱えている問題や、農地の有効利用、新

しい農村社会創りへの取組などを知ることが出来ました。農地は安心で安全な食料を安定供給するための貴重な財産で、環境保全などの多面的機能を発揮する大切な基盤です。

鶴岡市の中心産業である農業を守り、大切な資源を守って行きたいものです。(金野 匡良)



農地を農地以外の地目にするときは必ず許可を受けましょう

自分の所有する農地に住宅等の建物を建てたり、駐車場など農地以外のものにする場合(転用といいます)、または転用のために権利の移転(売買・貸借等)を行う場合は、農業委員会の許可が必要です。

許可を受けずに農地を転用した場合や、事業計画どおりに転用事業を行っていない場合には農地法に違反することとなり、罰則の適用もあります。

農地転用を行う際は必ず許可を受けるようにしましょう。

農業者年金加入推進等 視察研修報告

(高橋 文雄)

農業者年金の加入推進活動等を学ぶため、農業委員・農地利用最適化推進委員が先進地を訪問し、視察研修を行いました。

7/26 群馬県みどり市農業委員会



平成28年4月の改選を機に農業者年金加入推進体制を整え、加入推進の取り組みを強化。同29年4月から6月の3か月間で14人の新規加入者を獲得した。

2町・1村が合併して誕生したみどり市。北部の中山間地域から南部の平坦地まで縦長の地形となっており、野菜や稲作、果樹、畜産など多岐にわたった農業経営を行っています。平坦地では施設園芸や野菜など産地化が進み、基幹産業としてみどり市の農業を支えています。

農業者年金の加入推進活動は、事務局が作成した加入推進名簿やパンフレット等を入れた「加入推進セット」を持ち、加入推進部長・農業委員が戸別訪問しています。農業者の中にはまだ破たんした旧制度への抵抗感のある方が少なくないため、訪問の際は加入要件や財政方式を説明しながら、特に旧制度との違いをアピールするそうです。関心のある農業者がいた場合は事務局へ情報提供し、後日事務局が詳しい説明や加入手続きを行うため改めて訪問するとのことでした。



加入していてよかったという受給者の声を聞き、これまで以上に強化した結果、新規加入者が増えたそうですが、今後は新たに推進委員も加えて、女性や若い農業者を中心に加入推進に取り組むたいと話していました。

地道な活動が加入推進につながることを確認出来た研修でした。

7/27 こんにゃく特産研究センター



全国一のこんにゃく産地、群馬県のほぼ中央に位置する県農業技術センター内の施設。敷地内にある1.4haのほ場で、こんにゃくやタラノキの品種育成などを行っている。

こんにゃくの生産が全国一の群馬県。近年は機械化が進んでおり大規模農家もありますが、昔と比べて栽培農家は減っているようで、種芋を植えてそれを大きくして販売するため新規で栽培を始める人はほとんどいないのが現状だそうです。

この施設は、昭和21年に国の助成により、こんにゃく腐敗病の発生防止をテーマに県立農業試験場こんにゃく指定試験地として設置されました。主な試験研究として、こんにゃく品種育種試験、こんにゃくの持続的な高生産技術の開発、こんにゃく作況調査、環境にやさしい持続的な高生産技術開発研究、センシング技術を活用したこんにゃく栽培管理支援システムの開発・実証、タラノキ耐病性品種育成及び栽培安定化技術の開発があります。



これまで育成されたこんにゃくの品種は、「はるなくろ」、「あかぎおおだま」、「みょうぎゆたか」、「みやままさり」の4品種で、病気に強い、マンナンが多い、肥大性が良いなど、それぞれに特徴があるそうです。和やかな雰囲気の中、参加した委員も積極的に質問し、大いに触発されました。その後ほ場も見学し、収穫の多い研修になりました。



農業者のための 農業者 年金です

- ① 農業に従事されている方は誰でも加入できます
- ② 少子・高齢化時代に強い積立方式の年金です
- ③ 終身年金で80歳までの保証つきです
- ④ 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象となります
- ⑤ 認定農業者など一定の要件を満たす方には保険料の国庫補助があります
- ⑥ 保険料の額は自由に設定できます（月額2万円～6万7千円）

詳しくはJAか農業委員会事務局・各分室、または農業者年金基金へご相談ください。

農地中間管理事業に関するお知らせ

農地中間管理事業は、農地中間管理機構が、農地の借受け・貸付け等を行うことにより、担い手への農地集積・集約化を推進するものです。

農地中間管理事業により農地を貸し付けた場合、土地所有者や地域等に対して、一定の条件のもと、以下の協力金が交付されます。

◆個々の農家への支援

※国の予算によっては、交付単価が変わる場合があります。

機構に農地を貸し付けることにより

- 経営転換する農業者 ●リタイアする農業者
- 農地の相続人で、農業経営を行わない方

①経営転換協力金

新規集積農地面積【※1】 2.5万円/10a
 それ以外 2.3万円/10a
 (1戸あたり上限額 70万円/戸)

機構の借受け農地に隣接する農地または2筆以上の農地で、

- 自ら耕作する農地を機構に貸付けた所有者
- 所有者が農地を機構に貸付けた場合は耕作者

②耕作者集積協力金

新規集積農地面積【※1】 0.5万円/10a
 それ以外 0.3万円/10a

※①、②とも10年以上の貸付けであることが条件です。

※同年度に①と②の両方を申請することはできません。

【※1】「新規集積農地面積」とは、機構への貸付前1年間に、担い手【※2】以外の農業者が耕作していた農地を、担い手に貸し出した農地面積です。

【※2】担い手とは、認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者、集落営農経営のことです。

◆地域に対する支援

※国の予算によっては、交付単価が変わる場合があります。

「人・農地プラン」など地域の話し合いにより、地域の一定割合以上の農地を機構に貸し付けた場合、地域に交付されます。交付金の使途は地域の話し合いで決めることができます。(交付には地域での農地集積・集約化の話し合いが必要です。)

③地域集積協力金

機構への貸付割合	2割超5割以下	5割超8割以下	8割超
交付額	0.3万円/10a	0.6万円/10a	0.9万円/10a

農地所有者への固定資産税の軽減があります

農地中間管理機構に所有する全農地(10a未満の自作地を除く)を10年以上貸し付けた場合、固定資産税が一定期間、軽減されます。

- ① 貸付期間が10年以上15年未満の場合 3年間、二分の一に軽減
- ② 貸付期間が15年以上の場合 5年間、二分の一に軽減

荒れた農地を放置している方ご注意ください!

耕作を放棄し、荒れたままになっている農地(遊休農地といいます)を、耕作または管理の再開をしなかったり、誰にも貸さないで置くと、将来、その農地の固定資産税が約1.8倍になることがあります。耕作や草刈りなどの管理を再開するか、農業委員会が行う『利用意向調査』で「農地中間管理機構へ貸し付けをする。」との意思を表明することで、対象でなくなりますので、貸し付けなどをご検討してはいかがでしょうか。

詳しくは、農業委員会事務局・各分室へお問い合わせください。

鶴岡市福田にある「やさいの荘の家庭料理 菜あ」。築130年以上の自宅を改築してつくられた農家レストランを経営しているのは、小野寺農園のりまさの小野寺紀允さんです。

小野寺農園は、「菜あ」の他にも、有機JAS認証を取得した米とだだちゃ豆の販売や、農家の宿「母家」、ゲストハウス、シェアハウスなど、多角的に手掛けています。

今回は、主に農家レストランと農家民泊の部門を営む紀允さんにお話を伺いました。

〇〇に
いってきました

広報編集委員が
おじゃまします!

鶴岡市内の話題のお店や法人などに広報編集委員が訪問し、その内容をレポートします。
今回は「やさいの荘の家庭料理 菜あ」にいってきました。

就農のきっかけ

紀允さんは、横浜で化学の研究職に従事していましたが、Uターンして家業の小野寺農園に入りました。小野寺農園では30〜40年前から無農薬無化学肥料栽培を実践しており、生産だけでなく宅配や民宿などを通じてお客さんと近いところで商売ができ、リアクションが直に帰ってくるのが楽しかったそうです。5年半前からは母親からレストランの経営を受け継ぎ、自ら育てた新鮮な食材を使い、幼い頃から慣れ親しんだ母親の味をイメージしてお客さんに提供しています。「レストランを営んでいる

る感覚ではなく、あくまでも農業者としてのスタンス。自分で栽培したものを料理して目の前で食べてもらえる。最初から最後までプロデュースでき、リアクションが返ってくる、こうした出会いや体験を日々得られる環境にいることが幸せだ」と紀允さんはいいます。



「菜あ」店主 小野寺紀允さん

循環型の土づくり

小野寺農園では、米とだだちゃ豆をメインに、年間50〜60種類の野菜を栽培し、作ったものはレストランで提供したり、関東の飲食店へ販売したりしています。美味しいお米や野菜を作るためにこだわっていること



菜あ直伝! おいしいご飯を炊くコツ



「菜あ」の特徴はなんといっても「ごはん」。お米の栽培にこだわるのはもちろん、炊き方にもこだわりがあります。

お米も鮮度品で、特に白米は劣化しやすく、夏場の高温化では特に顕著です。米ぬかの酸化を防ぐためにも、「菜あ」では玄米を冷蔵庫で保管し、精米したてを洗米して炊いています。ガスの高火力で短時間で一気に炊くため、まばらになって炊きむらがないよう、吸水は低温でじっくり行っているそうです。

流通を考えると、各家庭で炊く分をその都度精米することは困難だと思いますが、低温で吸水させることでご飯のおいしさは格段に違うとのこと。米ぬかが取れて露わになった米のデンプンは、微生物の格好のエサで、「菜あ」でも夏場は特に気を使っているそうです。せっかくおいしい庄内米、ぜひ家庭でも参考にさせていただきたいと思います。

- ①米は冷蔵庫で保管する。
- ②なるべく少しずつ精米する。
- ③じっくり浸して理想はガス炊き。
- ④低温調理がカギ!

を尋ねると、返ってきたのは「土づくり」という答え。米ぬかなど収穫した作物を原料として発酵させたボカシ肥料を土に戻し、土の中の微生物や有効菌を増やすやり方で、自然の摂理に合う循環型の農法です。有機栽培に取り組む農家は少なくありませんが、米ぬかの確保やスペースなどが課題となり、自家製のボカシ肥料を使っている農家は少ないです。



安心なおごしや届けたい

料理へのこだわりは、無添加で素材を生かすことと、鮮度・旬を大切にすること。いずれも素材を知り尽くした農家ならではの武器です。野菜は自家製の無農薬野菜が全体の6割で、残りは地元産のもの。自分の家の野菜のコンディションは自分が一番知っているのものでそれ

を料理に活かしますし、地元食材も5年間で培った野菜の目利きでよりよいものを提供できるように努めているといえます。

最近、「菜あ」には子供連れのお客が増えていますが、何でも良いという時代ではなく、ファストフードよりも、地元で採れた安全でおいしい物を子供に食べさせたいという、親の食に対する意識の変化の表れではないでしょうか。産直などで地元の食材を手にする機会が増えてきたとはいえ、各家庭で口にする機会はまだまだ少ないでしょう。親の食に対する思いを補う意味でも、「菜あ」のようなレストランは、地域的にも必要なのだと感じました。



落ち着いた雰囲気のお店内

食の喜びを伝える

今後は、レストランにこだわらず、子どもたちに食を通じて喜びを伝えていきたいという紀允さん。就職して家を離れた数年間、一番食べたかったのが実家のご飯と梅干でした。小さい頃から食べてきたDNAは大事で、この食の都について地元の物を食べる機会が少ないのはもったいないと思います。料理や農産物子どもたちの記憶に残り、将来地元を離れても帰ってくるきっかけになったり、都会の人に自慢できるものになったりしたらうれしいと語ってくれました。

地域を笑顔に

紀允さんは現在、Uターンが多く地元の人も多い地元企業へ週に一度社食を提供して、食に興味を持ってもらうアプローチを行っています。また、「弟子入りホリデー」という企画を通じて、全国からやってく

る弟子たちに経営学を中心にノウハウを提供したり、公益大の学生と一緒に、グリーンツーリズム論や六次産業論などの研修、中高校生に職場体験の受け入れなど幅広く活動しています。いずれも、地元の人を楽しめる空間を提供し、この地域を楽しんでもらいたいという思いからで、農家レストランや農家民宿もその中の小さなピースなのだと思います。

熱い思いを終始笑顔で語ってくれた紀允さん。「地

次回は…

紀允さんのご紹介

「**緑のイスキア**」さんに行ってきます!

「菜あとはスタイルの異なる農家レストランです。和食とは違った食材の生かし方ですね。自家農園の新鮮な野菜を使ったイタリアンのお店です。」(紀允さん)

(吉住 喜之)

域の人を笑顔にしたい」という思いが強く伝わる取材となりました。

収入保険 加入手続き 実施中です

新しく導入された収入保険は、すべての作物の品目が対象となり、収量減少や価格低下など様々なリスクに対応し、農業経営者の販売収入全体を補償する保険です。

加入するために必要な青色申告は簡易な方式で1年の実績があれば良く、新規就農者でも加入できます。

現在、平成31年1月からの補償開始に向け、加入手続きが始まりました。

詳しくは、
山形県農業共済組合
(NOSA | 山形) 庄内支所
☎0234-91-1553 まで。



農地情報

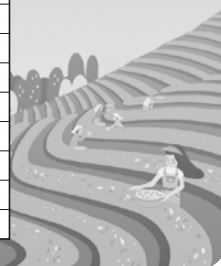
現在、貸し付け・売り渡しの希望がある農地です。
(7月末現在。市ホームページで随時更新しています)
詳しくは農業委員会へお問い合わせください。

貸付情報

地域	筆数	大字	小字	地目(公簿)	地目(現況)	面積(a)	備考
鶴岡	2	藤沢	軽井沢	原野		3	2年前まで畑として使用
藤島	2	藤島	新大坪	田	田	18	現況：転作田
藤島	5	古郡	金清水ほか	田	田	10	現況：転作田
藤島	1	古郡	金清水	田	田	7	現況：転作田
鶴岡	6	下川	窪畑	畑	畑	58	
羽黒	6	羽黒町松ヶ岡	大高森ほか	畑	畑	49	全筆不耕作状態 売り渡しも可
櫛引	2	常磐木	木原	畑	畑	6	希望条件:5年単位で、小作料は総額で年間5,000円【和梨が植栽されている(柿1本と物置1棟あり)】
藤島	2	藤島	村東	田	田	6	希望条件：5年単位で
鶴岡	6	中橋	備川ほか	田	田	69	

売渡情報

地域	筆数	大字	小字	地目(公簿)	地目(現況)	面積(a)	備考
鶴岡	1	面野山	鶴之瀬	田	田	7	
鶴岡	1	馬町	駒繫	畑	畑	12	
藤島	2	幕野内	道下	田	田	72	
羽黒	1	羽黒町松ヶ岡	林崎	畑	畑	4	雑木が生えている
藤島	2	藤島	新大坪	田	田	18	現況：転作田
藤島	5	古郡	金清水ほか	田	田	10	現況：転作田
藤島	1	古郡	金清水	田	田	7	現況：転作田
鶴岡	1	下川	窪畑	畑	畑	12	
鶴岡	2	中橋	村下ほか	畑	畑	12	
鶴岡	2	湯ノ沢	大下ほか	田	田	40	
鶴岡	1	高坂	三ヶ水口	畑	畑	1.8	
鶴岡	1	高坂	三ヶ水口	畑	畑	1.8	
鶴岡	1	中清水	割田	田	田	7	



ぜひお越しください!

今年もふるまいます!
地場産大豆の寄せ豆腐

農業委員会では、地場産大豆を使用した寄せ豆腐のふるまいや、旬の野菜・果物の販売、耕作放棄地の解消事例を紹介したパネルの展示などを行います。

つるおか大産業まつり

10月13日(土)・14日(日)

鶴岡市小真木原運動公園にて

11月には皇太子臨席予定の全国農業担い手サミットinやまがたが開催されます。全国で頑張っている農業者が山形に訪れます。新しい時代の農業を頑張っていくきっかけとして、皆さん成功を祈りましょう。

(小林 真)

平成最後の収穫の秋を迎え、今年の作柄はいかがでしょうか。近年、全国的に見ると大規模な自然災害が数多く発生したことが記憶に残ります。しかしながら、私たちの住む山形県、庄内地方は大きな災害も少ない地域ではないでしょうか。この恵まれた大地に感謝して、間もなく訪れる新しい時代を迎えましょう。

あとながき

全国農業新聞を購読しませんか

暮らしと経営に役立つ農業情報を週一回お届けします。

購読料 **700円** / 月(税込)

購読のお申し込みは
農業委員会事務局・各分室へ

- 鶴岡分室 25-2111(代表)
- 櫛引分室 57-2114
- 羽黒分室 62-2111(代表)
- 朝日分室 53-2111(代表)
- 温海分室 43-4616

鶴岡市農業委員会事務局

〒999-7696 山形県鶴岡市藤島字笹花25(鶴岡市藤島庁舎内) ☎64-5868(直) FAX.64-5846
http://www.city.tsuruoka.lg.jp/sangyo/nougyouuinaki/index.html